

# 名古屋文化キンダー ほると ニュース



# 71

Winter  
2018

発行日 \* 2018年1月1日  
 発行所 \* 社会福祉法人 名古屋文化福祉会  
 児童養護施設 名古屋文化キンダーホルト  
 キンダーホルトをささえる会 会長 高木 キヨ子

住 所 \* 〒480-1103  
 愛知県長久手市岩作琵琶ヶ池50-1

T E L \* 0561-62-4728  
 F A X \* 0561-62-4736  
 E-mail \* kinder@coast.ocn.ne.jp  
 H P \* http://www.kpweb.jp/kinder/

## 謹んで新年のお慶びを 申し上げます。

園長 西 川 信

新年あけましておめでとうございます。旧年はひとかたならぬお世話になり、誠にありがとうございます。

昨年11月の「ホルトまつり」の折は多くの皆さんと楽しいひと時を過ごすことができました。移転して早7年、皆様の支えがあって今があることを改めて実感致しております。

さて、昨年8月有識者による「新たな社会的養育の在り方に関する検討会」により「新しい社会的養護ビジョン」が異例とも言える経過で成文化されました。その内容はこれまでの「社会的養護の課題と将来像」を全面的に見直すものとなっています。「家庭養育」に重きを置くことや、「養育」という言葉を用い幅広い子どもに目を向けていくことなどは共感できますが、これまで社会的養護の中心を担ってきた児童養護施設や乳児院の今後のあり方や特別養子縁組や里親に過剰な負担がかかるのではと懸念される点など、現場の立場から見ると違和感を覚える内容となっています。今後は「子ども最善の利益」の実現を社会全体で担うという原則に立ち返り、社会的ニーズに柔軟に対応していける施設運営に努めて行きたいと考えます。皆様のお力添えをしっかりと受け止め、気持ちも新たに子どもと共に歩んでまいりたいと思います。

## 児童養護施設における 事務としての役割

事務といっても法人関係や総務的なことは名古屋文化福祉会発足当初から携わっており、15年程は児童指導員としても子ども達と関わってきました。現在でも週1回程の遅番・宿直・早番という勤務を続けています。というのは、事務室に籠り事務だけを行っている子ども達の様子や職員の動きがわからなくなってきました。そうすると施設全体のことが見えなくなり、必要な時に必要なだけのお金の執行が難しくなってくるからです。子ども達の生活を見守り、職員の働きを援助していく際には児童指導員としての経験や考え方を活かしながらの事務作業となっているように思います。職員が子ども達と関われる時間・考える時間の確保を優先し、子ども達と直接的な関わりがない事務はできる限り引き受けていくように心がけていました。ですが昨今の国や県の新たな動きにより事務量が増えてきてしまい、他の職員にもお願いすることが少しずつ増えてきたように思います。事務作業の効率化を絶えず考えながら自分の役割を自覚し職務の遂行に努めていきたいです。



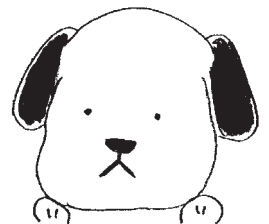
事務長 朝岡康夫

## キンダーホルトの理念

### 「うまれてきてよかった」

☆みんなでくらし みんなでそだつ  
 ☆みんなでつくり みんなでまなぶ  
 ☆みんなでまもり みんなでいきる

明けまして  
おめでとう  
ございます



2018





